

シキミ系統「飢肥1号」

～シキミ系統「飢肥1号」は9月までに2回展開緑化する晩生系統で直立性の優良系統～

背景・目的

- シキミは市場需要があり、宮崎県では主に東臼杵地域で栽培されています。
- シキミは一般的に、物日に出荷でき直立性であることが望まれますが、その形質にばらつきがあり、栽培にあたっては優良系統を保有することが望ましいとされています。

成果の内容

- 有望系統「飢肥1号」は、県北の晩生系統と同じ6月中旬から7月上旬に緑化し、9月上旬までに2回目の展開緑化します(表)。
- 「飢肥1号」は、樹姿が開帳性であり、枝ぶりが直立性、分枝性が密、葉が長楕円で先端がやや鋭形で大きさが中、葉の形状が平滑、斑なしです(図)。
- 「飢肥1号」は、関係者による葉の大きさ及び形状等の評価において、高評価でした(データ省略)。

表 シキミの各系統の萌芽時期及び緑化時期(n=5～10)

月 旬	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
飢肥1号			△			△			○			○									
A(早生系統)	△	△				○			○			△		○	△						○
B(中生系統)		△			△				○			○									○
C(晩生系統)					△	△			○			○			△						

※3年間(2017～2019年)のデータ

△：萌芽時期、○：緑化時期(展開葉が緑化し出荷できる程度の硬さの時期)



図「飢肥1号」の状態(左から:ほ場の定植株(2018年)、収穫後の切り枝、枝先端の展開葉)

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 有望な晩生系統として、需要が高いお盆時期の出荷が期待されます。
- 普及対象地域 県内全域

留意点

- 亜熱帯作物支場(日南市)での試験結果です。
- 気象条件等により、早晩性及び緑化時期は変化します。

関連研究成果カード：令和2年前期 番号15

関連事業名：露地花き・花木品目の産地づくりを目指した安定生産技術の開発(県単)

研究期間：平成29～31年